

# 市民と市長の対話集会

## タウンミーティング

「市民の疑問や要望を直接聞き、積極的な意見交換を行います」という小林市長の公約に基づき、今年度にタウンミーティングを18回開催しました。開催日、参加人数は下表のとおりです。

タウンミーティングの進行、質疑応答などは、すべて市長自身が行いました。

内容は、随時、小平市ホームページで公開してきましたが、1年分をまとめて概要を紹介いたします。

問合せ 秘書広報課 ☎042(346)95005・95008



開催日	会場	参加人数
平成17年 5月14日	学園西町地域センター	65人
5月21日	花小金井南地域センター	45人
5月28日	小川西町地域センター	71人
7月9日	喜平地域センター	22人
7月16日	中島地域センター	17人
7月23日	大沼地域センター	43人
8月6日	美園地域センター	16人
10月8日	学園東町地域センター	13人
10月22日	小川西町中宿地域センター	13人
10月29日	御幸地域センター	5人
11月12日	上水新町地域センター	34人
11月19日	天神地域センター	5人
11月26日	小川東町地域センター	4人
平成18年 1月14日	上水本町地域センター	8人
1月21日	花小金井北地域センター	6人
2月4日	鈴木地域センター	26人
2月18日	小川東第二地域センター	13人
2月25日	上水南公民館	38人
計		444人

※いずれも土曜日、午後7時～9時。

### 進め方

**市長** はじめに私の方から30分程度お話をさせて頂いた。その後、皆さんの質疑応答とする。

なるべく建設的な意見をいただきたい。市民同士の議論も大切にしていきたい。また、質問は市全体にかかわるようなもの、あるいは地域のことをお願いしたい。

1人当たりのやりとりの時間は、当日の参加人数に応じて会場ごとに決めていく。必ず名前を言ってから発言していただきたい。

### はじめに

**市長** マニフェストで「情報公開」と「市民参加」のまちづくりを掲げている。情報公開は皆さんの生活を豊かにする道具であり、積極的に行っていく。

市民参加については、1年間でタウンミーティングを17の地域センターすべてで行う、まちづくりの課題別の市民委員会を立ち上げる、自治基本条例の検討を行っていくなど、いろいろなツール、チャンネルを試してみたい。

モデルはない。市によって歴史や地理も異なるので、他市の事例は参考にすぎない。



### 質疑応答

**市民** 市民の皆さんにはできるだけ決定の場に参加していただくが、決まったことに押し負けてもらいたくない。最後の責任はだれがとるのか、市民は言い放して良いのかということになるが、法的な問題は市長の責任となる。それ以外については、市民も責任を負っていくというような構造をつくってほしい。

#### 情報公開

**市民** 小平市に住んで良かったと思えるように、他市と比べて優れている点、劣っている点を明らかにしてほしい。

**市長** 私もそう思う。遅れているところも明らかにするのが情報公開である。

#### マニフェスト

**市民** マニフェストを見て期待している。評価はだれがやり、それをどのよう公表するのか。

**市長** 最終的には4年後の選挙で、市民が評価することになる。

★市でも、進捗よく状況を随時チェックしています。

#### タウンミーティング

**市民** 市民に対してフィードバックをしてもいい。

**市長** 建設的な意見を出してくれれば、苦情だけ言って帰る人もいます。市長への手紙は全部読んでいます。文章を出してくればフィードバックしている。

**市民** 限られた時間では出席できない人もいます。市役所に行けばいつでも市長に会えるような場所をつくってほしい。

**市長** 私が個人の相談窓口をやるわけにはいかない。

**市民** 自治会長に、タウンミーティングを開催する旨の連絡がほしかった。ポストターをばり、広く呼びかけても良いのではないかと。

**市長** 問題意識を持った人に参加してもらいたい。参加者が少なくても良いと思っている。

**市長車** 市長専用の公用車を使わないことによって、財政にどれくらい影響するのか。

**市長** 廃止はしたが、全く車に乗らないということではない。そもそも財政を浮かせるためにやったわけではない。

**退職金** 前市長は退職金を返上すると言っていたがどうなっているのか。

**市長** 私は、いらぬという制度そのものを否定することになるので、20%削減する約束をした。額については報酬審議会で学識経験者を集めて決めているので、それを尊重したい。

**長期総合計画** 策定中と聞いているが、マニフェストに即して見直す必要があるのでは。

**市長** 基本計画の中では、平和、IT、情報公開、市民参加を入れて、メリハリをつけるよう、すでに指示を出している。

★第三次長期総合計画は、4月からスタートします。

**広域連携** 近くにある国分寺市の図書館で図書を借りられるようにしてほしい。

**市長** 国分寺市長と話をしたことがある。広域連携は進めていきたい。

★すでに東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市とは、管外宿泊施設および図書

館の相互利用を行っています。

**市民** フリーターやニートに関する国の実態調査の情報を市報に載せてほしい。

**市長** 市民にかかわる情報は、なるべく載せるように努める。

**組織** 高齢世帯で、蛍光灯の取り替えなどちょっとしたお手伝いをしてもらいたいときに、何でもやってくれる組織はあるか。

**市長** 市ではそこまでやることはできない。皆さんで困った人をお手伝いするような組織を立ち上げてみてほしい。

**縦割り** 提出書類にむだが多いと思う。例えば児童課と保育課で勤務証明をそれぞれもらって来いと言われる。縦割りがかまらうまいか。

**市長** セキュリティーの問題ではないかと思う。納税証明などの個人情報提出先以外の部署で共有することに、反対する親がいるのではないだろうか。

**公共施設** 財政的観点から、公共施設の利用は無料ではなく、受益者負担を取り入れるべきではないか。

**市長** 考え方は私もいっしょだが、受益者負担には一定の理解が必要である。

★平成17年度、公共施設等市民会議を6回開催し、意見を伺ってきました。

**施設の利用予約** 地域センターや公民館の利用予約を取るために、毎月行列している。朝並べる人だけが使っている。

**市長** それは議会でも出ている。

★平成18年度に、公共施設予約システムを導入する予定です。

**公の施設の区域外設置** けやき公園のところにある体育館

などの施設の利用のしかたがわからない。

**市長** 小平市の中にあるが、国分寺市の施設である。

★フィットネスルームは、だれでも利用できますが、あまり広くないため、市外へのPRはしていないとのこと。

**市の職員、予算** われわれは不景気中、一生懸命働いて税金を払っているが、職員から悲壮感がみえない。新市長として新しく予算をはき出してほしい。

**市長** 職員の非難を多くいただくが、小平市の職員は多くの市民を抱えながら少ない人数でよくやっている。今意識改革を進めている。予算も前例踏襲主義はやめ、一つ一つ事業を見直してつける。

**市民企画事業** 千葉県市川市では予算の1%を市民が企画した事業に充てるそうだが、小平ではどうか。

**市長** 市民からの要望は予算を区切らず実現していきたい。良い提案は現在も予算化して実現を目指している。

★平成18年度、市民活動団体の公募提案事業に対する補助制度を創設予定です。



こんなときもありました

**市民** 市の借金が多いが、4年間での削減目標は。

**市長** 例えば収入が10万円とすると、そのうち9万3千7百円は借金の返済などで払わざるを得ない金額である。残りのお金ではあることも限られている。

**公募債** 小平市は財政危機であると昨年の市報に載っていた。緑に限定せず、一般公募債も発行し、公共施設などに活用してほしい。

**市長** 利率が高いので、発行せざるを得ない状況になったときに検討する。

**住居表示** 大沼町では、同じ番地が何十件もあり、郵便でのトラブルが起きている。住居表示の計画はどうなっているか。

**市長** 順次行っているが、大沼町の計画については調べてみる。

★平成17年度に花小金井六丁目を実施、平成18年度に次の実施地区についての検討を行う予定です。

**自治会** 市と自治会の連動がない。

**市長** 自治会には補助金を出している。防災・防犯の点からは機能強化をする必要があるが、やりすぎても問題である。

**地域センター** 市民は自分たちで建てたという自覚がない。使い勝手など、地域の住民が主体となって前向きに進めていく取り組みを考えていきたい。

**市長** 地域の方が管理、運営するのが一番良いが、責任も負っていかねばならない。

**市民** 楽器の演奏など、地域センターで練習ができるのいいと思う。 <5面>